

授業科目	教育課程ナンバー	時間割コード	開講期	単位数(時間数)	必修・選択
基礎ゼミ1	BNNBS1E01	10101	1前	1(30)	必修
担当教員	久留島 実姫・井上 深幸・田口 豊恵・窪田 好恵・中島 優子・千葉 陽子・鯉坂 由紀・那須 さとみ・井上 貴子				
概要	基礎ゼミ1は、新入生が大学教育に円滑に適応し、能動的・主体的に学修を進めていく姿勢を身につけることを目的としている。授業は、少人数ゼミ形式です。高校までの授業や学習とはどのように違うのか、授業に取り組むにはどのようにすればよいのかなどについて、学生自身が調べ、考え、話し合い、まとめ、表現できることを目指す。				
学修目標	1)京都看護大学で学ぶ意義について述べるができる。 2)ディプロマ・ポリシーに到達するための、4年間の学び方について述べるができる。 3)"主体的に学ぶ"ということについて述べるができる。 4)後期への課題を述べるができる。				
DPとの対応	智をいつくしむ力		人をいつくしむ力		命をいつくしむ力
	科学的論理的思考力	◎	全人的人間理解		職業倫理と人権擁護
	探求力と生涯学習能力	◎	ケアリングとコミュニケーション		適切な看護実践
回	学修内容	予習・復習内容			
1	ガイダンス:基礎ゼミ1で何をするのか 4年間、共に学ぶ仲間と知り合おう!	予習:シラバスを読む。 復習:基礎ゼミ1を受講するために必要なことを記述する。			
2	何のために京都看護大学で学ぶのか、自分の意見を伝えてみよう!	予習:なぜ京都看護大学に入学したのかを記述する。 復習:京都看護大学に入学したのかを意味づけ、800字で記述する。			
3	看護職者になるために 4年間で何を、どのように学ぶのか考えてみよう!	予習:ディプロマ・ポリシー、カリキュラム・ポリシーアドミッション・ポリシー、シラバス、カリキュラム・マップ・カリキュラム・ツリーを読む。 復習:年間目標、1週間、1日のスケジュールを立てる。			
4	学習環境を探索してみよう! ①学内環境(物理的環境) 学修に必要な大学内の施設・設備の探索	予習:修学ガイドブックの建物配置図を確認する。 復習:一人で学内探索したときと、グループで学内探索したときと何が違い、何故違ったのかを記述する。			
5	学習環境を探索してみよう! ②学内環境(物理的環境) 文献検索、ナーシングスキル、看護師国試WEB	予習:文献検索、ナーシングスキル、看護師国試WEBがHPのどこからアクセスできるか確認する。 復習:キーワードを決めて文献検索し、読んでみたい本3冊・論文3編を選び記述する。看護師国試WEBの課題に答える。ナーシングスキルで興味のある項目にアクセスする。			
6	マナー講座	予習:マナー講座のテキストを読み、考えをまとめる。 復習:初めて知ったマナーを記述する。また、そのマナーを活用した結果を記述する。			
7	大学での学び方を理解しよう!① 予習・復習の必要性、ノートの取り方、 授業への参加の仕方、グループワークの目的、 参加の仕方	予習:これまで受けてみた大学の授業について感想を記述する。 復習:学習したノートの取り方を実践する。 授業、グループワークへ意識して参加し、結果を記述する。			
8	自分の生活・学修スタイルを振り返ってみよう!① グループ内で、予習した内容を発表し、アドバイスをしあう	予習:3講で作成した1週間、1日のスケジュールを実行できているか自己評価する。 復習:改善プランを記述する。			
9	教員へのメール・研究室訪問のマナー レポートの書き方①レポートを書こう	予習:教員に指導を受けるために、どのようなメールの書き方や研究室への訪問の仕方が良いか記述する。テキストP1~12を読む。 復習:出された課題			
10	レポートの書き方②わかりやすい文	予習:テキストP13~29を読む。 復習:出された課題			
11	レポートの書き方③何を書くか・アウトラインをつくる	予習:テキストP31~52を読む。 復習:出された課題			
12	レポートの書き方④ パラグラフで考える・序論と結論を書く	予習:テキストP53~74を読む。 復習:出された課題			
13	レポートの書き方⑤ 文献・資料を引用する・レポートを仕上げる	予習:テキストP75~98を読む 復習:出された課題			
14	定期試験の学習の方法を理解しよう!	予習:前期試験の科目、評価方法を調べる。 復習:定期試験に向けた夏季休暇の過ごし方を計画する。			
15	学修目標について自分の言葉で述べてみよう!	予習:学修目標について記述する。 復習:予習で考えた学修目標について、さらに深めて記述する。			
使用テキスト	渡邊淳子『大学生のための論文・レポートの論理的な書き方』、2015、研究社				
参考図書					
成績評価基準	レポート25%・課題75%				